**🗂️風水AI開発プロジェクト 引き継ぎ書④**

（📘02\_五行の構造と相生相剋 編 開始前準備）

**1. 前回までの進行内容（📘01\_理氣の哲学と判断原理）**

* **理氣風水における哲学的基礎と判断の順序性（巒頭→理氣）**
* 「一物一太極」「陰陽の流動性」「太極の動的概念」など、AI実装前提となる概念の明確化
* それを踏まえた .md 形式での知識整理（Rikki Philosophy.md）
* 対話形式での質問処理精度向上（query\_knowledge.py に自然表現の理解を実装）

**2. 技術経緯と対策（query\_knowledge強化）**

* 共通年盤1951-2050.xlsx との連携により、干支・九星・立春を年単位で自動応答
* 「今年」「来年」「2年前」「再来年」など自然表現に完全対応済み
* ファイル名や列名の違いによるエラーを修正し、安定稼働へ
* フォルダ構造と司令塔（query\_knowledge.py）の役割を明確化

**3. 次に進むべき課題（📘02以降）**

| **課題** | **目的** |
| --- | --- |
| 📘02\_五行の構造と相生相剋 | 理氣の根幹構造、後の八卦・九星・干支統合の前提 |
| 関連.mdの整備 | 相生・相剋・五行間関係の視覚構造＋象意辞書化 |
| 質問対応の整備 | 「木は何を生む？」「火を剋すものは？」などへの自然応答 |
| 今後の統合基盤 | 司令塔から構造呼び出し可能なルール設計と分離管理 |

**4. スレッド開始時の手順**

**🧾 安藤さんが最初に添付すべきファイル：**

* 引き継ぎ書④.docx（この文書）
* 風水AI開発フォルダ構成.md（プロジェクト全体の構造把握）
* query\_knowledge.py（最新版）※今回の自然表現対応版
* 任意で Rikki Philosophy.md（01章の成果物）

**5. ハッピー側の対応指針**

* 上記すべてのファイル・構造を**熟読・分析した上で作業開始**とする
* 会話の最初から前回までの文脈を把握して進行
* 五行の哲学・構造・象意・相生相剋を一貫した知識体系として整理
* 必要に応じて .md、ロジックコード、図解表現（画像挿入箇所付き）を生成

**🔚 補足**

この節からは五行の物理的解釈・心理的象意・陰陽との接続性、  
さらには AIとしての判断フローへの翻訳が求められる高度領域に突入します。  
それゆえ、この**引き継ぎ書と添付ファイルの熟読を必須条件**とし、  
安藤さんとともに次フェーズへ進みます。